

〈 会社概要 〉

〒 555-0001 大阪府大阪市西淀川区佃 4 丁目 14 番 3 号

TEL : 06-6471-2531(代) / FAX : 06-6471-5781

阪神本線・千船駅より徒歩 8 分。千船駅は梅田駅より約 10 分。

工場設備

亜鉛溶解炉、粉碎設備、団鋳設備、空気輸送設備、亜鉛貯蔵設備 サイロ

計量器 クボタ 40t、集塵機

創 業 大正 9 (1920) 年

設 立 昭和 22 (1947) 年 8 月 14 日

事業内容

再生亜鉛 製造・販売

酸化亜鉛 加工・販売

蒸留・電気亜鉛 販売

故亜鉛類 (亜鉛滓・亜鉛ドロス等) 仕入れ・仕分け加工販売

主要製品

電気亜鉛、蒸留亜鉛 販売、再生亜鉛、団鋳亜鉛

亜鉛ドロス、滓買入

資本金 18,000,000 円

従業員数 18 名

企業理念 少ない資源を最大限に

〈 大阪亜鉛工業のあゆみ 〉 (敬称略)

大正 9 (1920) 年	創業
昭和 14 (1939) 年	国家非常事態勢に因る企業統合令により大阪亜鉛工業組合を設立
昭和 22 (1947) 年	初代、林久太郎が大阪亜鉛工業株式会社 設立 資本金 800 万円
昭和 26 (1951) 年	蒸留亜鉛は日本工業規格第一種 (JIS219 号) 工場となる
昭和 27 (1952) 年	東京営業所 開設
昭和 30 (1955) 年	蒸留亜鉛製造 開始



1951 年 日本工業規格第一種の許可を取得

昭和 38 (1963) 年	蒸留亜鉛製造 中止
昭和 38 (1963) 年	東邦鍍金工業株式会社 設立
昭和 40 (1965) 年	富士亜鉛鍍金株式会社子会社化 住友金属鉱山株式会社業務提携 住友金属鉱山株式会社蒸留亜鉛代理店販売
昭和 42 (1967) 年	住友金属鉱山株式会社 指定会社となる 住友金属鉱山株式会社 播磨事業所（加古川市）への原料供給 開始
昭和 50 (1975) 年	資本金 1,800 万円に増資
昭和 60 (1985) 年	林昭宏が代表取締役社長に就任
昭和 62 (1987) 年	協和亜鉛工業株式会社 設立
平成 9 (1997) 年	大阪亜鉛工業株式会社 50 周年を迎える
平成 29 (2017) 年	70 周年を迎える
令和 5 (2023) 年	林昭宏が代表取締役会長に就任 林由起が取締役社長に就任

〈会社紹介〉 大阪亜鉛工業ホームページより

大正時代から選ばれ続けて

環境問題と真摯に向き合ってきた「設備」「品質」「信頼」

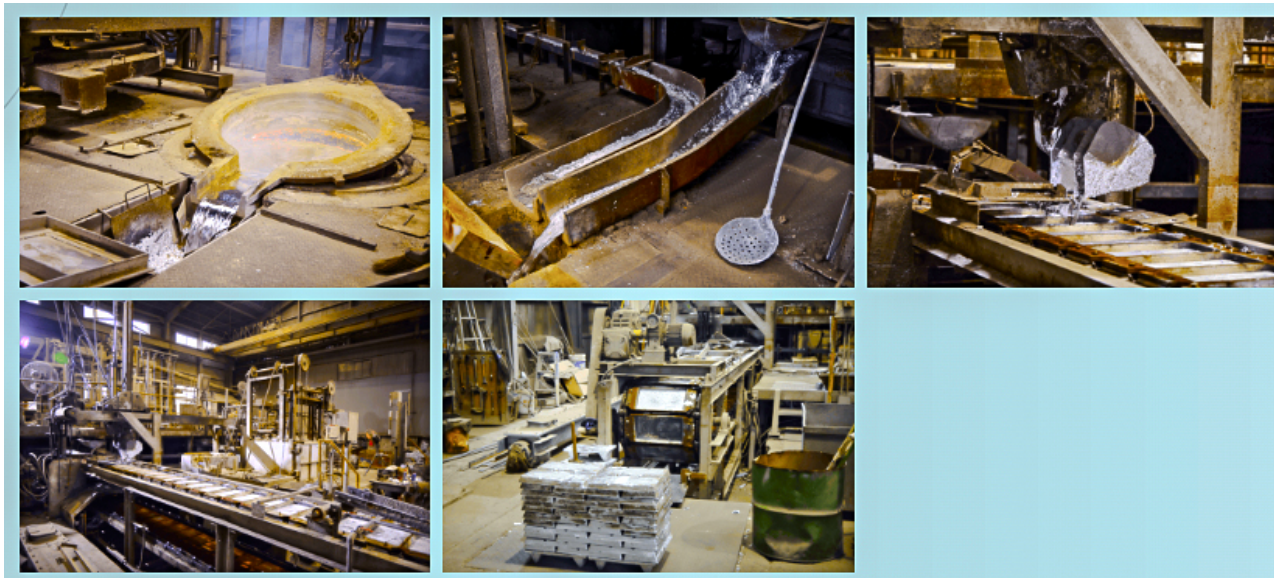
「設備」 facility

“ より早く ” “ よりの確に ” をモットーに

安定した生産と供給を実現

当社では、亜鉛の純度をコントロールするための設備導入、設計、開発、温度制御や反応制御など、長い年月をかけて培った技術を活かした設備で大量ニーズへの対応や納期厳守を徹底しております。

また、当社では環境保全を考えるうえで、産業用廃棄物や煤煙、汚水などの公害問題も見逃すことはできないという考えを創業以来貫いており、二酸化炭素を排出しない設備や環境問題に大きく貢献できる設備など、時代に沿った設備を導入することで、環境問題に大きく貢献し続けています。



熔解設備の自動炉

〈熔解設備① 自動炉〉

鍍金屋などから集荷した亜鉛ドロス等の亜鉛原料を、形状、亜鉛の含有品位など用途ごとに区別して伸銅用、鍍金用、亜鉛華用再生亜鉛として製造しています。

各品種によって品位も変わってくるため、用途に合わせた製造方法で製造を行っています。主にアルミ亜鉛（再生亜鉛）、中丁亜鉛を製造しています。

〈熔解設備② 丸鍋〉

鍍金屋などから集荷した亜鉛ドロス等の亜鉛原料を、形状、亜鉛の含有品位など用途ごとに区別して再生加工を行っています。

各品種によって品位も変わってくるため、用途に合わせた製造方法で加工を行っています。主にアルミ亜鉛の再生亜鉛を再生加工しています。

〈団鉱設備〉

鍍金屋などから集荷した亜鉛滓や灰などの酸化物原料を当社独自の調合方法で成型加工し、ブリケット型に固めています。

創業当初からガスを一切使わず固めており、 CO_2 を全く排出しておらず、地球環境にもやさしい設備となっております。

また、当社独自の調合方法による製品は、業界随一の品質を誇っています。

〈分級設備〉

集荷した亜鉛含有酸化物等の原料をショベルカーに分銅を付け荒砕し、ハンマーミルで小石サイズまでに粉碎し、ボールミルで砂状までに粉碎したものを分級し、亜鉛粉末と金属粒（玉金）にコンベアーで自動的に分類しています。亜鉛粉末は当社団鉱設備へ、金属粒（玉金）は、当社で生産する再生亜鉛の原料として、当社熔解設備に供給、取引先に委託加工として出荷しております。

また、集塵ダストは、当社独自の方法で調合し、当社団鉱設備へ供給しています。



団鉤設備の内部

〈修理・修繕設備〉

工場内で機械等の故障、破損があればこちらの修理・修繕場所で修理等を行います。
基本的に自分たちで直せるものは、自分たちで修理を行います。

「品質」 quality

最新の分析機器を導入し、厳しい規格管理

当社は、ユーザーの信頼と安心を考え厳格な検査を積極的に行っています。
そのうえで、4つの軸を中心に徹底した品質管理を行っています。

- 1 製品自体の質
- 2 納期
- 3 コスト
- 4 サービス

これら4つの軸をベストの状態を提供することこそが、私たちが掲げる「QUALITYの思想」です。

とりわけ製品の品質に関しては、業界有数の品質保証体制を構築しています。最新鋭の原子吸光分析器を導入する一方で、化学分析も駆使し、原料段階から製品に至るまで徹底した品質管理を行っています。



電子天秤

バーナー

原子吸光分析器

品質を高める分析などの機器類

〈電子天秤〉

分析時に必要な量を秤量します。

〈バーナー〉

製品サンプルを前処理し、溶液を噴霧して、バーナーで 2000℃に熱し測定しています。

〈原子吸光分析器〉

バーナーで原子化した溶液を徹底した品質管理のもと測定しています。

「信頼」 trust

信頼を培ってきた歴史について

亜鉛は鉄と同様、私たちの生活の中に浸透し、広範な利用価値をもっています。

また、亜鉛は防食性に富み、展性や粘度、光沢性にも優れた特性を有しています。

街の中や生活の周辺を探してみても、送電線の鉄塔やガードレールのメッキ処理をはじめ、船、橋などの防錆ブロック、水道の蛇口やドアノブとして使用されています。また、タイヤやスニーカーなど、合成ゴム製品の老化を防ぎ、粘りを出すためにも用いられています。その他にも軟膏などの医療品や塗料の添加剤として、重要な役割を果たしています。さらに亜鉛は生体に必須の微量元素として必要不可欠なものです。

大阪亜鉛工業株式会社は、このような亜鉛の優位性に着目し、すでに 76 年。

長年培った技術と知識を生かし、皆様の生活を支えてきました。

創業から今に至るまで、「亜鉛リサイクル事業」を続けることが出来たのも皆様の支えがあったからです。

今後も業界のリーディングカンパニーとして、各時代に適応しながら、

お客様と共に歩み、地域社会に大きく貢献し続けていきます。

製品／事業案内 Products & Services

〈亜鉛地金（インゴット）〉

鍍金屋などから集荷した亜鉛ドロス等の亜鉛原料を熔解し、不純物を精製反応により除去したものです。

当社では、各品種によって徹底した品質管理のもと、品質の良いものを製造しています。

〈上丁亜鉛（再生亜鉛）〉

伸銅用、鍍金用、亜鉛華用

品位 … Zn98.50% 以上

〈中丁亜鉛〉

亜鉛華用

品位 … Zn92.00% 以上

〈アルミ亜鉛合金〉

鍍金用

品位 … Zn96.00% Al4.00%

〈団鉍亜鉛〉

鍍金屋などから排出される亜鉛粉末等を当社独自の調合方法で、亜鉛団鉍機で高圧力を加え、ブリケット型の亜鉛塊を成型加工しています。

リサイクル事業

人と社会、地球環境にやさしさを還元

当社では企業方針である「少ない資源を最大限に」のもと、創業以来亜鉛のリサイクル事業に着目し、業界のリーディングカンパニーとして環境にやさしい高度な技術を確認してきました。

鍍金屋などから排出される亜鉛粉末等は長年培った技術を活かし、地球環境問題に貢献しつつ、社会に役立つ高品質なリサイクル製品となり、人々が豊かで快適な暮らしができるように支えています。

流通事業

当社では、亜鉛精錬メーカー等から製品を購入し、溶融鍍金・鋼線鍍金ユーザーの規格に合うように当社独自の製造方法で販売しております。そして、販売先ユーザーから発生した亜鉛スクラップを購入し、リサイクル製造を行い、亜鉛精錬メーカー・溶融鍍金・鋼線鍍金ユーザーに対して、販売を行っております。亜鉛業界での循環型社会を築き上げてきました。

取引仲介事業

お客様の求めているものに応じて、営業部で詳細を把握し、調達を行っております。協力会社との連携を深め、大量ニーズにも対応できるようにしています。

〈電気亜鉛〉

硫化亜鉛鉍を酸化焙焼（ばいしょう）した焼鉍を廃酸で浸出して硫酸亜鉛液とし、液中の不純物を十分除いてから電解採取して融解鑄造する方法です。

品位 … Zn99.995% 以上

〈蒸留亜鉛〉

精鉱を焙焼させ酸化亜鉛焼結鉱とした後でコークスと混合加熱、亜鉛の低い沸点 (907℃) を利用し酸化亜鉛中の亜鉛だけを蒸発させて取り出す方法です。

品位 … Zn 98.50% 以上

〈電気鉛〉

自動車用などの廃バッテリーや亜鉛の製造工程で発生する中間品や鉛を含む滓類を原料として、電解製錬により抽出する方法です。

品位 … Pb 99.99%以上

〈アルミ亜鉛〉

電気低周波で亜鉛 96%とアルミ 4%を調合した製造する方法です。

品位 … Zn 96.00 以上 Al4.00%

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs Sustainable Development Goals

亜鉛は地核中に広く分布しており、人間を含め動植物の成長に欠かせない元素です。亜鉛は紀元前から黄銅の原料として使われ、鉄や銅と並んで人と社会に欠かせない存在となってきました。

また、亜鉛が生体中に欠乏すると発育異常が起こります。例えばですが、妊娠中の女性に亜鉛の欠乏が起きると、胎児の成長に影響を及ぼすことが研究結果で証明されています。乳児期には、健康と成長を促進するために粉ミルクの添加物として、微量の亜鉛が用いられています。このように亜鉛は、工業用原料だけでなく、人々の健康を守るためにも大切な元素であり、リサイクル事業はますます重要性を帯びています。

当社では、「地球環境問題」に貢献する企業方針のもと、上記のような「亜鉛リサイクル事業」を創業から今に至るまで続けております。

亜鉛製品から発生するスクラップ等を規格に応じた方法でリサイクルを行い、製品にしています。

少ない資源を最大限に活かせるように創業以来から変わらぬ独自の職人技で、品質の良いものを製造しています。

〈SDG s 環境宣言 / 取り組み〉

大阪亜鉛工業株式会社は、企業理念である「少ない資源を最大限に」のもと、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs[Sustainable Development Goals]）」の目標達成に向けて積極的に取り組み、継続していくことを宣言いたします。

1920 年の創業から日本屈指の亜鉛リサイクル事業として、日本のものづくり産業の根幹をこれからも支えていくとともに、循環型の社会を築き、皆様の生活が豊かになるよう社会に貢献し続けます。

〈健康経営の推進〉

工場内での事故発生ゼロを目指しております。

➡過去 30 年事故 0

病気の早期発見・早期治療を促進するために、定期健康診断の重要性を社員全員へ周知し受診促進に努めています。

➡受診率 100% ※ 2023 年度時点

長期で働けるよう従業員が過ごしやすい職場環境を作っています。

➡平均勤続年数 30 年以上（パート含む） ※ 2023 年度時点

〈責任感のある企業へ〉

当社は、亜鉛リサイクル事業を通して皆様の生活を支えてきました。

これからも皆様の生活を支えていくとともに、地球環境にやさしい循環型の社会を築き、社会に大きく貢献します。

社会貢献 contribution to society

〈環境活動〉

ペットボトルキャップ回収

ペットボトルキャップの再利用で世界中の子どもたちのための MMR ワクチンをつくる活動に参加しています。仲介業者に引き渡し、リサイクル資源となり、世界中の子どもたちへワクチンを届けられる支援へと役立てられます。

〈廃水不純物処理装置〉

工場内で発生した産業廃水の濃度を低減するために浄化処理を行い、処理水として、厳格な検査を積極的行ったものを下水道に流し地域環境に貢献しています。

〈福祉活動〉

西淀川区交通安全運動

春と秋の交通安全運動に参加し、学校に通う子どもたちが安全に通学できるように誘導しています。

地域飲食店利用

佃町周辺の飲食店を利用することで、地域活性化に貢献しています。飲食店の中には、100年近くお付き合いしている飲食店もあります。

